

要旨

「統合と変革」を基本コンセプトとする JFE スチールのシステム統合（新統合システム）は、挑戦的かつ大規模な開発であったが、ほぼ当初計画どおりに安定立ち上げを実現した。この新システムの全体概要を、「基本コンセプト」、「新システムの特長」、「開発プロジェクトのリスク管理」の視点で報告する。

Abstract:

A new integrated system called J-Smile (which stands for JFE Strategic Modernization & Innovation Leading System) has started up as originally planned, and resulted in a virtually trouble-free startup, although its development had a lot of challenging factors and was in a big scale. J-Smile targeted the basic concept, "Integration & Innovation". The authors will report the overview of a new integrated system from the following viewpoints: (1) basic concept, (2) features of a new integrated system, and (3) risk management of the project.

1. はじめに

本プロジェクトは「統合後、年以内にシステム完全統合を実現する」という基本計画を決定した。

この基本計画に基づいて、2003年4月の経営統合と同時にシステム統合プロジェクトを立ち上げ、本格的な新システムの開発に着手した。名称は「新統合システム」、略称を「J-Smile (JFE Strategic modernization & innovation leading system)」とした。

本プロジェクトでは、「片寄せ型」ではなく、ビジネスプロセス・管理指標・データを統合再設計し、同時に変革も組み込む「統合変革型」でシステムを新規に構築した。

2. 開発の基本コンセプトとシステム全体体系

2.1 基本コンセプト

新統合システムは、「経営資源の最大活用と顧客満足度の向上」を目的とする経営情報基盤と業務運営基盤の構築を目指している。

その基本コンセプトは、

- (1) ビジネスプロセスとマネジメントの統合と変革
 - (2) 変化に迅速に対応できるシステムの実現
- の2点で、ビジネスプロセスとマネジメントをシステムと一体で変革し続けることに重点をおいている。

2.2 システム全体体系と開発スケジュール

Fig. 1 にシステム全体体系の遷移を示す。2系列ブリッジ体系から1系列体系にシフトするとともに、「経営管理」、

「人事」、「購買」、「販売・生産・物販」業務を統合し、
堀田 善一 HOTTA Zenichi JFEスチール 新統合システム推進班
渡部 尚史 WATANABE Takashi JFEスチール IT改革推進部 主任部

残り3分野は、新統合プロジェクトで一括して推進した。プロジェクトの初期段階で経営情報視点から3分野全体の骨格設計を行って開発に着手し、1年後に経営判断に直結する「経営管理」分野を、2年後に「購買」分野を、3年後に最大規模である「販生流」分野を立ち上げた。

Fig. 2 に開発スケジュールを示す。

2.3 システム規模

完成した新統合システムは、本社の新規構築領域だけでもプログラム規模で約2千万ステップとなっている。また、JFE スチールの注文情報の特徴は、顧客要求仕様が細かく項目数が膨大な点にあるが、定義した項目数は約9万件、データ量は10TBにのぼる。この大規模性とデータの複雑性をいかに乗り越えるかが、本プロジェクトのポイントとなった。

3. 新統合システムの特長

3.1 販生流分野

本分野は、「販売」

た

購買分野は、旧2社の業務運営方式の良い点を取り出して、新業務運営方式としている。この分野では、全面 Web でシステムを構築した利点を生かし、取引先と Web 接続して全体業務効率の向上と業務スピードの向上を実現した。従来2～3日かかっていた発注業務はほぼ当日中に完了している。

3.3 新システム基盤

「変化に柔軟かつ迅速に対応できるシステム」を短工期で実現するためにシステム基盤が果たす役割は大きい。そこで、従来のシステム基盤を評価し、最新 IT 動向を冷静に見極めて、以下の構築方針を策定した。

(1)

